



神戸市立博物館にあるサビエルを描いた絵画

十一月に入り  
につき年頭のあ  
を失礼する」旨  
きがかなり届い  
くなられた方の  
見ると、自分と  
ど変わりがない  
りの時が近づい  
のは間違いない。

サビエルを困らせた日

日本今昔

## 巡礼の道

藤屋 倪士

道を読んで、感想や何かに役立てばと資料などを時々送ってくれる大学を出て半世紀も過ぎたのに、こんな友がいる

救つてくれてもいいではないか」と言つてサビエルを困らせたという。当時の日本人が貧しくとも先祖を大切にし、成長していった。これが、僕の父の心である。

今回は「サビエルを困らせた日本人」というブログの記事を見つけたからと、わざわざ

ふと、自分が洗礼を受ける前に神父に質問したことを思い出す。

本部に書き送ったサビエルの手紙

という当時の教えは、流している親愛な友人

サビエルが日本各地で布教した時、多くの日本人から「『洗礼を受けると永遠のいのち

の神の国に入る」と争にアメリカも加わり  
いうが、この教えを知 大きく報道されてい  
らずに死んだ我々の祖 た。「人間の自由意思

先は今どうしているの  
か」と問われた。に神は立ち入らない」と言われ、ならば「全

当時のキリスト教能の神はなぜ悪をつ  
は、洗礼を受けていな  
くつたか」と質問した  
人は地獄に落ちるど  
りした。

教えたらしく「天国には入れない」と答えた。受けず、十年近く過ぎ結局すぐには洗礼を

それを聞いた人は「あてなんとなく洗礼を受けた」

なたの信じる神様といふのは随分、無慈悲で、うけた。いい加減な信者はだと自覚している。

無能ではないか。全能の神というのであれば、ロゴにあつた「洗礼を私のご先祖様ぐらい受けてない人は地獄」

（社）という分厚い本がある。今回のブログに関連のあるものを探したら、サビエルは「地獄に落ちた者に救いはない」と話している。「彼ら（日本人）は自分たちの祖先が教われないことがわかると、泣くこと止めません。私も救いがないことで涙を

高く評価し「礼儀正しく名譽を重んじ、今まで出会った国民の中で最も優秀だ」と本部に書き送っている。

ブログの記事を送ってくれた友にお礼の手紙を書きながら、サビエルが今の日本人をどう思っているか